

第633回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

日本のチカラ

欲しい街の創り方～花巻・旅館再生&巨大ソフト～

平成30年9月6日（木）

(株) I B C 岩手放送

第633回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成30年9月6日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 10名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 畠山 俊彰 宮 順子

小松 務 澤口 たまみ

佐藤 求 龍澤 尚孝

菅原 和彦 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役放送本部長

中島 勝志 報道局長

堀米 道太郎 テレビ制作部長

鹿野 真源 テレビ制作部ディレクター

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 日本のチカラ

欲しい街の創り方～花巻・旅館再生&巨大ソフト～

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 日本各地で街の空洞化、商店街の空き店舗の対策が問題となり、なかなか効果的な対策がない中、花巻市という身近な街で青年らが自治体や誰かのアクションを待つことなく、「自分たちが欲しい街は自分たちで創ろうよ」という気概を持ち行動するパワーがよく伝わってきた。岩手の青年もまんざらではないと誇りに感じるような良い番組だった。
- こういうものを始めるときはいいと思うが、問題はそこからどうやって継続し発展拡大させていくか、それが一番大切な部分かと。持続可能な街づくり、事業継続という部分が今後どうなっていくかが興味深かった。こういう取り組みが花巻市だけでなくほかの地域へも広がってほしいと感じた。
- 自分たちで街を創ろうと思っている。本気になって。小友さんのように30代で本業がありながら、「自分たちの欲しい街は自分たちで創るんだ」と能動的なところが、岩手県にそういう人がいたのかと思い大変嬉しく思った。
- デパ地下にスケボーというのは新しい発想だし、しかも自分で教室を開いて小さい子どもたちに教えている辺りは、私たちが小さいときからスキーをやっていたのと同じように1つの文化になるのではないかというポジティブな感じがした。こういう取り組みが次の文化を創るのではないか、30代の人たちが次の文化を担うのではないかという明るい感じがした。
- 家守舎の役目について断片的にテロップで流れたが、図か何かで説明してもらってもっとわかりやすかったと思う。どのようにして空き店舗を探してくるのかわからないが、これから借手手をどうやって見つけるのか、どうやって家守舎を運営しているのか、その辺の説明があれば良かった。
- ユニークな若者が随分たくさんいるんだなと思って、すごくいい人材を探したなと思った。今まで地方再生というと、ノウハウを持ったプロが来ていろいろすることが多かったと思うが、地元の若者たちだけでこういうことをするというのは、本当に珍しい。これからも取材を継続して欲しい。